



「共謀罪」反対の緊急街頭宣伝 (1月18日 JR御茶ノ水駅)



No.512

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
編集発行人田中幹夫

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
E-mail  
chian@bz03.plala.or.jp  
頒価 50円

# 現代の治安維持法「共謀罪」阻止 5月国会請願へ署名の飛躍を

## 主な記事

- 2月中央常任理事会開く …………… 2
- 私も一言/自由法曹団・三澤麻衣子 …………… 3
- 国賠署名・会員拡大の各県の取り組み …………… 4
- 顕彰碑/窪田精文学碑 …………… 5
- 抵抗の群像/石川一雄 宮崎県 …………… 6
- 同盟文芸/短歌・俳句・川柳 …………… 7

安倍自公政権は、「戦争する国づくり」をめざし、国民の反対を押し切って特定秘密保護法、安保法制、戦争法にもとづく南スーダンPKO派遣関連法、盗聴法の適用を拡大、「司法取引」によるスパイ弾圧手段を拡大しました。さらに、今国会に、これまで3回にわたって上程しながら廃案になった現代版治安維持法と言われる「共謀罪」を、2020年東京オリンピック・パラリンピックを口実に、「テロ等組織犯罪準備罪」と名前を変えて新設しようとしています。

共謀罪反対のたたかいは先頭に立って奮闘しましょう。5月17日(予定)の第44回目の国会請願まで3カ月と迫りました。昨年の請願署名の紹介議員は、衆参両院合わせて99議員でした。今年こそ、3ケタの紹介議員を獲得するために、国会議員の地元事務所訪問などががんばりましょう。

国会請願署名の1月現在の到達は、45都道府県(未集約2県)で個人・団体合わせて6万457筆(目標対比12.2%)で、昨年対比1万6000筆の遅れです。

会員のみならず、共謀罪反対運動の先頭に立ちつつ、同盟運動の最大の課題である、国会請願署名の目標達成のために奮闘しましょう。

# 創立50周年事業、第38回大会成功へ 署名・会員拡大自主目標の総達成を

2月中央常任理事会は2日、全労連会館で開かれ、増本一彦会長のあいさつと田中幹夫事務局長の報告を受けて活発に議論しました。会議では、「共謀罪」を国会に提出させない闘いとむすんで請願署名、会員拡大の飛躍をめざす活動を意思統一しました。

## 増本一彦中央本部長挨拶(要旨)

### 1 情勢と「共謀罪」粉砕の闘い

1月19日、衆議院議員会館で、全国労働組合総連合(全労連)、



自由法曹団、日本国民救援会の3者共闘による「共謀罪粉砕・院内集会」が開かれました。

治安維持法同盟中央本部は、榎本よう子事務局次長などを派遣して、



本年12月8日、同盟も参加団体の一員である国際人権活動日本委員会が行った政府交渉の際、法務省交渉に参加した菅野亨一中央本部国際部長は「治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償要求を

「意見表明」を参加者全員に配布して、会場発言でも力強く反対運動に全組織を挙げて取り組む決意を述べました。

### 2 政府答弁に対する全面的批判の展開

① 「共謀罪」のような悪法が出てくるのは、政府と国会の多数の議員が、治安維持法の運用の実態と犠牲者等の被害の実態を正しく検証して、治安維持法犠牲者等の闘いと抵抗の歴史が日本国憲法の国民主権主義、国際平和主義、そして基本的人権尊重主義という業績を生み出す礎となったことを正當に評価していないからです。

### ② 昨年12月8日、同盟も参加団

体の一員である国際人権活動日本委員会が行った政府交渉の際、法務省交渉に参加した菅野亨一中央本部国際部長は「治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償要求を

毎年国会請願として行っているのに、政府は何ら対応をしていない。同盟の請願3項目を政府はどのように考えているのか」という趣旨の質問を書面で提出しています。

これに対し法務省大臣官房室長が「治安維持法は適正に成立した法律であって、国が謝罪と賠償をする理由はないし、犠牲者の実態を調査する必要もない」という趣旨の答弁をしました。

政府交渉の場で、菅野国際部長は激しく抗議しました。この回答の趣旨は、これまで日本共産党の不破哲三議員などの国会質問に対する政府答弁の線上にあるものですが、多数の交渉団のいる中で行われたこと、そして、これまで政府側の国会答弁に対して同盟が正面切った反論をしていません。

これを機会に同盟としての確で全面的な反論をして、治安維持法犠牲者等の闘いと抵抗の歴史の業績に対する正当な評価をして、法務大臣に謝罪と賠償と顕彰の措置を執るよう要求する要請書を、1月18日に提出しました。

(3ページへつづく)



「市民社会」という言葉があります。しばらく前から西欧で使われている用語です。歴史上の「市民社会」とは異なつた概念です。わが国でいえば「市民運動」のことをさすようですが、あまりしっくりとはしません▼ただ、ここにかけて、野党共闘と市民連合の共同による政治変革の動きが進展している現実に対して、「市民革命」という表現がなされてきています。これは近代の夜明けとなった「市民革命」に匹敵する、現代における革命だとして▼そうすると、現代の市民の運動に対して「市民社会」という言葉を冠しても、あながち不適當ではないといえそうです▼「市民社会」が、代議制に基づく政党とともに、これからの社会変革の主役となって、個人尊厳権、幸福追求権、平和的生存権の実現をめざす民主主義革命を推し進めていくのかもしれない▼わが治安維持法同盟も、このような歴史的な「市民社会」の一端を担っています。

(大)

(2ページからのつづき)

菅野さんには、人権活動委員会  
の席上、同盟の立場を説明し、同  
盟運動への協力を要請しました。  
③要請書をパンフレットにして、  
会員の学習テキストとして活用し、  
国会請願署名運動と会員拡大運動  
の活力となるようにしました。パ  
ンフレットは、「共謀罪」粉砕の  
運動の力にもなるものです。

この闘いと抵抗の歴史が生み出  
した治安維持法犠牲者等の歴史的  
業績に確信を持って、6月の全国  
大会までの会員拡大自主目標達成  
に全力を傾けることを訴えます。  
3 国会請願署名の遅れの克服。  
会員拡大のテンポの飛躍。「外  
に打って出る」活動の強化を  
①紹介議員は衆参合計99人になっ  
ています。紹介議員をさらに増や  
すためには、国会請願署名の筆数  
を飛躍的に増やすことが大前提で  
す。国会請願署名を議員の地元要  
求として多数提出することが重要  
です。現在の遅れの克服、特に人  
口の多い都道府県の同盟の奮闘を  
願ってやみません。  
②「外に打って出る」運動が重  
要です。中央段階の「共謀罪粉砕」  
の共闘組織が全労連、自由法曹団



今年の旗開きで、自  
民党議員が「自民党は  
戦争をしたいと思われ  
ているが違う。平和を  
愛している。」と話し  
た。彼らの中には、本  
の共謀罪とは違う」と言い張り、東京オリ  
ピックのテロ対策を前面に出し、名称も「テ  
ロ等準備罪」に変え国民を欺こうとしている。  
だが共謀罪の本質は変わらず監視密告社会  
を招くことは明らかだ。政府・与党の中には、  
それが分かってない人もいるだろう。分かっ  
て推し進める人  
とは徹底的に闘  
い、そうでない  
人には分かって  
もらい、政府・

### 監視密告社会 共謀罪は絶対にいらない

弁護士 三澤麻衣子

人には分かって  
もらい、政府・

当にそう思っている人  
もいるのだろう。でも  
方法が間違っている。  
戦争法は戦争すること  
が前提で報

復の連鎖は止まらない。戦争をな  
くするのは誰かが報復をストップす  
ることだ。菅官房長官が、共謀罪  
法案を今通常国会で提出すると記  
者会見し、3度廃案になった従来  
の批判を形式的に取り入れ「従来

## 私も一言

与党の中から疑問の声をあげて欲しい。戦争  
をなくすのに必要なのは、戦争で傷ついた人  
の心をケアできる社会と法律だ。だから戦争  
法はいらないし、それを維持するための監視  
密告社会をつくる共謀罪も絶対にいらない。

(自由法曹団 治安警察問題委員長)

日本国民救援会の3者共闘で取り  
組まれています。現代版治安維持  
法といわれながら、特定秘密保護  
法反対運動以降、同盟中央本部が  
加わっていないことを、早急に解  
決したい。

中央段階の共闘組織に参加する  
には、東京と神奈川、埼玉、千葉  
などから青壮年層の新しい幹部・  
活動家の発掘が必要です。それな  
しには青年部の組織化という年来  
の課題の追求もできません。この  
問題は、中央本部だけの問題では  
なくて、都道府県本部の課題でも  
あります。当面は、会長、事務局  
が中央段階の共闘組織への参加の  
任に当たるように努力したい。

### 田中幹夫事務局長「報告と提案」

(要旨)



①国会請願  
の成功にむけ  
て、署名の取  
り組みを飛躍

的に前進させて目標の達成を。昨  
年比1万6千筆の遅れ。紹介議員  
を獲得するうえで野党4党の地元  
事務所を訪問し要請する。

(7ページへつづく)

# 国賠署名・会員拡大の各県の取り組み

50周年の意義討議し会員拡大  
年間目標超え14人拡大

山梨県本部

12月初めの役員会で、同盟創立50周年の意義を討議して、今の情勢の大変重要なとりくみであることとを確認しました。

とりわけ会員拡大は難しいなどがでたが討議のなかで、対象者名簿を作り役員が分担して入会を訴えることにしました。

対象者は、地域の社会活動、革新活動などで奮闘されている方々で、弁護士・大学名誉教授・医師・退職教員・新人議員などです。

訴えの内容は、「安倍政治の悪政は、戦前に逆戻りさせる戦争への道であり絶対に許すことはできない」「共謀罪は、戦前の治安維持法そのもの」などです。

会長を先頭に役員各自が対象者に訴えました。入会していただくのとだちに報告しあい、みんなで確信を深め加速させ、年間目標10人に対し14人と超過達成しました。

やれば出来るよ50周年事業の成功に向けて奮闘します。

上小・更埴支部、目標100人達成

長野県本部

長野県本部上小・更埴支部は会員拡大の自主目標100人を達成しました。県本部全体では、当面の目標である500人まであと10人まで迫っています。これは9月10月の拡大月間の活動による成果です。また会費納入97%、募金目標56%を達成しました。2月22日には県本部理事会で今後の取り組みの意思確認をする予定です。

2週間で6人が次々と入会

京都府本部

京都府本部京丹後支部は11月13日、13人が出席して第2回支部委員会を開きました。会員拡大では10月までに15人の目標を掲げながら加入者ゼロに、顧問からの厳しい批判で反省。対象者40人を出して討議。「まず行動することだ」「友好団体のあらゆる集会・学習会・行事には人を配置して取り組

めば結果はついてくる」「その中でつながりをつくり対象者も見つける」など積極的な発言が出ました。三役と支部委員が組みをつくらせて取り組むこととし、顧問の岡下宗男さんは委員会の帰途、対象者を訪問、2人が入会。年金者組合の遠足では1人入会。バスの中で50筆、地元で50筆を集めました。

三役会後、8人の対象をあげ、7人に訴え、4人入会。あわせ6人が入会。11月13日から2週間の出来事です。今回の行動のポイントが役員が先頭に立って実行したことです。

北見・釧路・十勝班づくり

北海道本部

北海道本部は3地域で班づくりをすすめています。北見支部は10月27日、紋別市で紋別班の結成会議を開きました。班長には森山薫さんが選ばれました。釧路支部では野瀬義昭支部長代行が標茶町を訪れ、班結成の準備を地元の羽田光雄さんと協議し、話をすすめました。十勝支部は11月12日、地域別学習会第2弾として、南十勝

の中札内村で開催し、近隣の地域からも参加、15人が集いました。地域での班づくりを目指します。

50周年めざし2500人へ

大阪府本部

大阪府本部は、活動の基本は仲間ふやしと署名活動に力を入れていくが、そのためにも支部を増やそうと、取り組んでいる。

特に会員数の少ない大阪市内での支部作りとして港、西、浪速を一つにした支部作りに入力している。そして若者への運動の継承も念頭に入れて、今年4月には、フィールドワーク戦跡巡りを取り入れて仲間増やしと、支部作りを呼びかける計画だ。

大阪は1945年の3月の大空襲から終戦の8月までに8回の大空襲を受けて灰燼に帰した。終戦間際の国鉄「京橋」駅に落ちた1トン爆弾で多くの方々が一瞬に亡くなっている。現在も8月14日の命日には、法要が営まれている。支部を増やし来年の同盟結成50周年までには2500人の仲間を迎えようと、取り組んでいる。

顕彰碑 探訪

「戦争と人間の問題を」伝え続けた 窪田 精の文学碑を建立

芥川賞候補にもなり、多喜二・百合子賞を二度受賞された窪田精氏は、私の住む山梨県北杜市高根町の出身。2002年10月、14歳で東京以来67年ぶりの故里での講演会は大盛況。その2年後に永眠された。東京の偲ぶ会で文学碑の建立が決まりました。

県内各分野の呼びかけ人を決め、歩み始めましたが、役員の方々が病死。私事ですが、自宅の火災、06年には次男の急死、その後5年余り夫の看病と死去などで、活動は一時壊滅状態になりました。



窪田氏は、治安警察法で検挙され、囚人兵としてトラック

島に送られ、トカゲもミミズも食べ、食料を盗んだ者の殺人も可という陰惨な生き地獄での生活、1500人の囚人兵で餓死者が多く生存者は74人。当時24歳の精氏は若さで生存できた」と述べ、「戦争と人間の問題を」後世に伝えることが死んだ同胞への供養であり、任務と決意されたことが私の活動再開へのエネルギーでした。体制を再構築し、日本民主文学会はじめ全国に募金を訴え、850人余の皆さんから募金が寄せられ、文学碑が建立できました。場所は小説「石楠花村日記」の舞台となった北杜市武川町の民医連武川診療所の敷地内。13年も紆余曲折し、昨年9月11日除幕式を行うことができました。 ※交通 JR中央線日野春駅下車 タクシーで約10分。 (窪田精文学碑をつくる会事務局 長・雨宮裕代)

治安維持法犠牲者・遠藤祝さん(90歳)

山形県内の治安維持法犠牲者存命者は2人、伊藤てるさん(山形市、101歳)、遠藤祝(しゅくし)さん(鶴岡市在住、90歳)。

鶴岡支部の役員が遠藤さんを訪問。遠藤さんは元気で、地元小学校で「昔がたり」活動に参加。戦争の愚かさ、命の大切さについて話しています。支部では遠藤さんの手記をもとにパンフレットを発行、



県内に普及。遠藤さんは戦前、神奈川県川崎市の東芝京町工場へ勤労動員。1943年8月、工場退出の持ち物検査で、先輩から借りた文学全集のなかに1枚の紙が挿入されており、それが引掛かっただけです。プロレタリア歌人グループの作品が書かれていたのです。川崎警察署での追及には、鶴見の

総持寺の山門の脇で拾ったことで通しました。1カ月後、大山阿夫利神社杜精神修養道場で2カ月間の修行。天皇絶対、日本は神国、忠義は義務を叩き込まれたのです。(「不屈」山形版2016年12月号)

40周年、『奈良県治安維持法犠牲者名簿』発行

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部はこのほど、同本部結成40周年を記念して、『奈良県の治安維持法犠牲者名簿』を発行しました。企画から7年の時間をかけた力作です。

関係各位から「これまでと一線を画する出色の出来栄」「埋もれている人を蘇らせる事業」などの反響が寄せられています。県内外への普及に努力しています。製作協力費として10000円の負担を要請しています。

連絡先：〒630-8442 奈良県奈良市北永井町277-3 田辺実気付

電話0742-617194 (「不屈」奈良版2016年12月号)

## 像群の抵抗

拷問に屈せず侵略戦争に反対した  
石川一雄

石川一雄は1908年10月13日に宮崎県宮崎市村角町で生まれた。のどかな田園地帯で心優しい少年として育った。

27年3月に宮崎中学校を卒業し、第五高等学校を経て東京大学に入学した。

29年秋には、アメリカでおこった恐慌が各国に波及し、未曾有の世界的大恐慌に見舞われていた。日本でも大量の失業と実質賃金の低下のなかで、生活の向上を求め人民の闘争も広がっていた。当時の日本帝国主義は中国侵略戦争によって、この状況を切り抜けようとしていた。

関東軍の満州侵略、満州国の建国などを機に燃え上がった反帝運動に石川一雄は参加し、32年に帝国主義戦争反対同盟東大支部に加入した。こうした運動を通じて33

年1月、東大に初めて日本共産党の細胞が組織されるにあたり同志6人と参加した。そのなかには後に東大総長になった林健太郎、高知大学教授(工学博士)木原博なども参加し、後に転向した。

33年3月、反帝運動中に逮捕された石川は東京・本郷の本富士署に留置されたが、党員であることを秘して40日間の拘留で釈放された。釈放後ただちに地下活動に参加し、日本共産党関東地方委員会直属として活動した。

33年11、12月のいつせいの検挙により、地下活動中の石川はふたたび逮捕され、ひどい拷問を受けたが屈服しなかった。以後、市ヶ谷刑務所に1年、豊多摩刑務所に6カ月いた後、宮崎刑務所に移送され、38年に釈放された。独居房でも転向はしなかった。

出所後は、宮崎市農業組合、宮崎県農業会に勤務し、県農業会企画課長で終戦を迎えた。

日本帝国主義の敗北によって日本における解放闘争の条件は大きく変わった。宮崎県民も、軍国主義に反対し、生活と権利を守るために立ち上がった。そして一貫して侵略戦争に反対し、労働者、農民の権利をまもって不屈にたたかってきた唯一の党、日本共産党への期待が高まっていた。

宮崎県党組織の確立のために来宮した紺野与次郎が支援。1946年1月21日に宮崎市で開催された共産党演説会で11人が入党。日本共産党宮崎地方委員会(現在の県委員会)が創立された。

地方委員会とほぼ同時に宮崎地区委員会が発足。石川は46年2月に宮崎地区委員会で再入党した。

生前、石川は「戦後、農業会に勤務していたとき、大分(県)から甲斐竹二、前田啓太が46年に面会に来て『共産党をつくりたい』と言った。国鉄の戸敷行盛、日南(市)の井上勇夫、農業会の税田幸雄、中村らと話して共産党をつ

くることになった」と、当時同盟県本部事務局長だった児玉武夫の取材に語っている。

日本占領の最高司令官だったマッカーサーは、「二・一・一」禁止への国民の不满をそらす必要もあり、国会解散を命令した。

新憲法下の総選挙が47年4月に実施された。このとき、石川は宮崎1区の日本共産党候補として奮闘し、「民主主義の破壊者、共産党に投票するな」という乱暴な干渉のなかで4338票を獲得し、前回I、2区の合計得票の1・6倍の前進に貢献した。

石川は47年に県農業会を退職して共産党の専従となり、党県委員長になって宮崎県党の土台づくり尽力した。

晩年には好きなゴルフや囲碁を楽しみながら、嫁ぎ先の娘さん宅で過ごしていたが98年11月19日に90歳で死去した。

本人が建立した石川家の墓は、宮崎山下原墓地にあり、72歳で亡くなった妻と2歳で亡くなった娘さんとともに安らかに眠っている。(日高脩・宮崎県本部会長)

# 同盟文芸

## 短歌

碓田のぼる選

夕日が沈み赤々染まるヤンバルか悔しいかぎりには蝉がなきたつ(沖縄・高江にて)

高知県 はた 愛

榎田ふきが遺せし言葉甦える「沈黙は共犯」と厳しく言いしを

東京都 杵淵 智子

高齡者事故相次ぐとの報道に免許証返せと子は繰り返す

岐阜県 和田 昌三

ノーベル賞思えば平和愛しむ「九条の会」よ果たせその任

岩手県 小杉 正夫

わが道を照らしし綱領学び来て暗中摸索を迷わずに過ぐ

静岡県 江川 佐一

政権が右だと言えば左とは言えぬ会長世論に屈す

大分県 渡邊 幹生

われ十九「誰がために鐘は鳴る」鑑よと言いし女八十三にて逝きぬ

埼玉県 小室 仁彌

真剣に考えた末共産党に行き着いたという隠れ共産党

島根県 小玉 信恵

戦争を許してならぬ日本の憲法守ると誓う新年

埼玉県 福家 駿吉

オスプレイ飛ぶな飛ばすなと怒るうんばあ我れも署名に

福井県 元山章一郎

〈選のあとに〉短歌とは何か、をあらためて考えます。一首が5・7・5・7・7の五句構成で成り立ち、一句ごとに意味が連続することは当然です。その上で何を表現するのか、というと、作者の感動で

す。新聞の見出しのようでは感動は伝えられないわけです。

## 俳句

望月たけし選

正月の凧に大書す「非核平和」

三重県 橋本しげる

〈評〉「9条凧」「非核凧」を見かけるようになった。平和の大切さを訴える方法である。

老の骨脚の芯立て冬を越す

神奈川県 天野三葉子

銀杏の実のひとりごと宝達山

石川県 野村 芳泉

悪法の三法憎し寒来る

兵庫県 岸本 守

人知れず水仙綻ぶ庭の隅

鳥取県 大久保禮吉

## 川柳

鈴木いさお選

抗えば共謀罪が嗅ぎつける

大阪府 塩田 一行

〈評〉彬・多喜二の時代の、あの忌まわしい記憶が甦る。

全千島返せと言えぬ安倍政治

埼玉県 小室 仁彌

亡国のTPPにすがりつき

埼玉県 福家 駿吉

もの静か生前退位じんわりと

大阪府 大和 峯二

不時着で粉々になるオスプレイ

大阪府 佐々木雅弘

(3ページからのつづき)

②「共謀罪」反対の闘いを飛躍的に前進させる。中央本部でパンフレット作成を準備する。

③6月8～9日開催の第38回全国大会成功めざし、国会請願署名と会員拡大の自主目標の達成と50周年記念日にむけ2万人の同盟建設へ、前進している県・支部の教訓を全国に普及する。

④地方議会の意見書採択は、昨年ではゼロで404議会。問題点を明らかにして取り組みを強める。

⑤50周年記念2000万円募金を成功させる意思統一をはかる。

**第27回全国女性交流集会 報告集完成!**  
積極的に活用しよう

### 事務局日誌

1月11日 全労連会館新春懇親会

1月15・16日「不屈」編集会議

1月18日「共謀罪」反対駅頭宣伝

(JR御茶ノ水駅)

1月19日「共謀罪」反対院内集会

1月25日 日本人権委員会会議

1月26日 日本母親大会第1回実行委員会

# オスプレー墜落抗議緊急集会 沖縄の怒り4200人



12月オスプレー墜落、空中給油を含む飛行再開、県民の抗議が広がるなかで1月20日、米軍ヘリがうるま市伊計島に不時着しました。

同日には辺野古でヘリが米兵を吊り上げての訓練も。まさに戦場さながらの状態です。4200人が参加した12月22日の「墜落抗議緊急集会」後、辺野古現場で、各地域で「翁長知事を支え、オスプレー・海兵隊撤去」の取り組みをひろげています。「戦争に つながる基地建設に反対することは、生き残った者の役員」とスタンディングに連日参加。安倍政権が「共謀罪」の導入をたくらむなか、「辺野古での座り

込み『相談』も共謀罪の対象になる。まるで戦前の治安維持法だ」の声が上がっています。沖縄での国賠同盟の果たす役割を痛感、決意を固めています。(沖縄県本部代表委員・村山純)

### 計報

福島県本部会長の加藤起氏は、1月1日死去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

【訂正】本紙新年号の巻頭詩は「高江の山桃」に訂正いたします。

## 映画 「母」



今日の政治情勢にタイムリーな映画が2月から上映される。安倍政権は通常国会に「共謀罪」法を提出、成立させようとしている。

「テロ対策」の名で国民を欺き、現代版「治安維持法」と

言うべき悪法である。戦前「治安維持法」と不屈に闘った小林多喜二の母の物語である。

「共謀罪」を阻止するためにも、ぜひこの映画をみてほしい。1928年3月15日、天皇制権力は労働者・農民を大弾圧する。多喜二は、この事件をモチーフに、小説「一九二八年三月十五日」を

執筆。多喜二は、特高警察から狙われ、1933年2月20日、特高に逮捕され拷問をうけてその日に虐殺される。

手の指は、小説が書けないように1本1本折られていく。

母セキは多喜二に向かって「多喜二 もう一度立って見せなかせ」と叫ぶ。この言葉は今日の我々に対しても呼びかけているもの。原作は、三浦綾子、監督は山田火砂子、母を演ずるのは寺島しのぶで、映画の柱となっている。

映画評論家 羽淵 三良

2016年秋季号

# 『治安維持法と現代』

好評発売中



【主な内容】参院選結果—「2つの顔」の意味は 渡辺治一橋大学名誉教授特別インタビュー。ナチ時代のドイツ、現代のドイツ=石田勇治東大教授。「与党を支持しない」二つの教団の覚悟と見識=柿田睦夫。宮沢賢治の戦争認識と平和思想=吉見正信、日本プロレタリア文学、翻訳にかけた思い=ノーマ・フィールド。実証・治安維持法下の弾圧=朝鮮活動家と連帯した三宅鹿之助の決断=後藤守彦。日中友好にかけた長谷川テル顕彰=田辺実。強制連行・治安維持法弾圧・原爆死の中国人33人=宮田汎など。資料=日本会議所属国会議員一覧など。A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌 発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟